

戦後80年

遠ざかる記憶

未来へのバトン

『歩けません、早く殺して下さい(後略)』

(中略)後れては大事だと後に心を残しつつ

去ることのつらさは

胸を突かれる思いであった――

ビルマの戦いにて、総退却の様子

井手貞一「戦時物語」(個人蔵より)

観覧無料
会期中無休

令和7年

8月2日[土]―9月7日[日]

武雄市図書館・歴史資料館
蘭学・企画展示室

日～木 9時～17時 金・土 9時～18時

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1 TEL.0954-28-9105

主催 | 武雄市図書館・歴史資料館

■ギャラリートーク

8月17日[日]・8月23日[土]

9月6日[土] いずれも14:00～

※8月17日(日)は、井手貞一さんのご家族から、資料の説明や想いを語っていただきます。

■スライド紙しばい

戦争体験記録「生きとうよー」

上演者: 北方おはなし会 すくらむ

8月3日[日] 14:00～

場所: メディアホール

定員: 40名
(当日受付)



戦後80年

遠ざかる記憶 未来へのバトン



爆撃を受け、炎上・沈没する船舶を描いたイラスト 井手貞一「僕の一生」より（個人蔵）

再び戦争歴史を繰返されるような
間違いが無いようにと――

井手貞一「戦時物語」より

昭和20年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾。9月2日、対連合国降伏文書に調印し、戦争が終結しました。

それから80年。戦争を知る世代が少なくなり、戦争の記憶が薄れつつある今、戦争を知らないわたしたちの世代が、戦争の歴史を受け継いでいかなければならない段階になってきています。

武雄市では、新市史の編さん事業に伴い、さまざまな資料を収集する中で、戦争に関する資料について、広く提供を呼び掛けてきました。収集した戦時資料には、戦争の悲惨さ、無残さ、むなしさが語られるとともに、家族への思いや平和への願いが込められています。わたしたちは、これらの資料を先人たちの想いととともに、次の世代へと受け継いでいく必要があります。

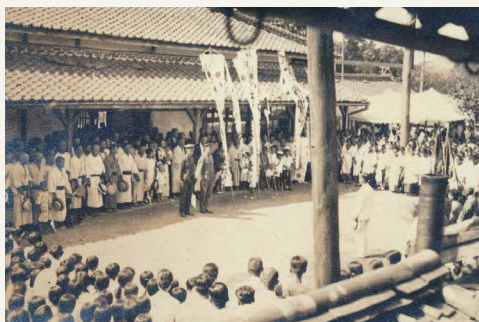
武雄市では、戦後80年を契機に、受け継がれてきた戦時資料を紹介する企画展を開催します。戦争の歴史を次の世代へとつないでいく大切さや、平和について考えるきっかけとします。



軍隊生活 体操（個人蔵）



ゴムの葉（ビルマにて師団長書付の和歌）（個人蔵）



三間坂駅での出征式の様子（個人蔵）



出征旗（武雄市蔵）



千人針の様子（武雄市教育委員会蔵）



千人針（武雄市蔵）